

第4章 計画策定の考え方

1 基本理念

高齢者の多くは住み慣れた家庭や地域の中での暮らしを続けることを願っています。そのため、高齢者一人ひとりが、日頃から健康に留意し、生きがいを持ち、介護予防に努めることが大切です。しかし、だれもが加齢とともに要介護状態になる可能性があります。そのような場合でも身近な場所で適切な福祉サービスや介護サービスを利用して生活できる環境が必要です。

また、行政をはじめとして、保健・福祉・医療・介護の機関が密接に連携し、地域で支える地域ぐるみのまちづくりが必要です。

以上の考えを基に

好きだから このまちですっと 過ごすために
- 新たな福祉社会づくりをめざして -

を基本理念に掲げます。

また重点施策は、国の指針を踏まえ以下の4項目とします。

重点施策

- 介護予防と健康づくり
- 住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくり
- 認知症の人と家族を地域で支える環境づくり
- 互いに助け合い、支え合う地域社会づくり

2 計画の基本目標

- 基本方針1 介護予防の推進** (重点施策 介護予防と健康づくりに対応)
(重点施策 認知症の人と家族を地域で支える環境づくりに対応)

健康な高齢者・日常生活を支障なく過ごすことのできる高齢者に対し、要介護状態にならないための介護予防や健康づくりを支援します。また、虚弱高齢者や要支援・要介護高齢者になったときにも、その状態の改善や悪化防止を支援し、できる限り介護を必要とせず、いつまでも自分らしく、安心して住み慣れた地域での生活が継続できるよう、地域包括ケアの実現を目指して、地域での介護予防・健康づくり活動を展開します。

基本方針2 必要に応じた支援・サービス提供体制の充実

介護や支援を必要とする人が、それぞれの心身の状況に応じて、自由な意思と選択に基づき、いつでも、どこでも、保健・医療・福祉にわたり良質なサービスを総合的に、かつ連続的に利用できるサービス基盤を確立し、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる仕組みを構築します。

基本方針3 社会参加と生きがいのづくりの支援

高齢者の社会活動の場や参加の機会の提供を増やすことに努めるとともに、他の世代との交流や自ら培ってきた知識や経験等を積極的に活かす場の提供を図り、活力ある地域社会づくりを図ります。

基本方針4 尊厳ある暮らしの支援

介護や支援を必要とする人、また介護をする人の誰もが、個性ある人間として尊重され、自由に健康的で安全な生活を営むことができる地域社会の実現をめざします。

基本方針5 ふれあい・ささえあいネットワークの推進

- (重点施策 住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりに対応)
(重点施策 互いに助け合い、支え合う地域社会づくりに対応)

身近な地域でたがいに見守り、支えあう地域包括ケアの充実を図り、相互の助け合いと人間的なふれあいを大切にしながら、地域における様々な人材や福祉資源と連携し、安心、安全な暮らしを実感できる、高齢者を支える地域社会の実現をめざします。

3 計画の体系